

●第37回 緑区社会福祉大会

平成31年2月26日（火）、第37回緑区社会福祉大会が開催されました。

当日は穏やかな雰囲気の中、日頃から地域で福祉・保健などの活動で活躍されている方々を中心に、433名の皆様にご参加いただきました。

【第1部】

第1部の式典では、緑区において永年にわたり、社会福祉活動に携わってこられた多くの団体や個人の方40名の功績に感謝し、地域福祉の一層の充実を図ることを目的に式典（表彰）が行われました。



<▲表彰者 記念撮影の様子>



<▲式典（表彰）の様子>

また、会場2階ホワイエでは、「みどりのわ・ささえ愛プラン」のパネルと地区別計画推進委員会通信等の展示や、区内6か所の障害者施設・作業所の製品販売も行われ、多くの方でにぎわいました。

<▼緑区社会福祉大会チラシ>

**第37回 緑区社会福祉大会**  
 【日時】平成**31**年**2**月**26**日（火）  
 午後**1時30分**から**4時00分**【会場】緑公会堂  
 ☆開場：午後1時00分  
 【第一部】式典（午後1時30分～2時20分）  
 社会福祉功労者・金品預託者の表彰  
 ■区内の社会福祉活動に貢献した個人・団体を表彰します。  
 【第二部】緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」  
 （午後2時30分～4時00分）  
 <第3期計画重点テーマ>「健康づくりに関する取組」>  
 『健康とほ何か？』  
 ～このまちで、心豊かに暮らし続けるために～  
 ■パネルディスカッション  
 【パネリスト（予定）】  
 ・藤田 隆子 氏（緑区保健活動推進委員会会長）  
 ・押山千佳子 氏（緑区産生活協賛会会長）  
 ・狩野 隼二 氏（健康まちがづくりアドバイザー）  
 【コーディネーター】  
 村井 祐一 先生（みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会 委員長 / 田原県立学園大学 人間福祉学部 教授）  
 ※事前申込不要、参加費無料、手話通訳有。  
 ※当日会場にて、「みどりのわ・ささえ愛プラン」における各地区の取組紹介のパネルの展示、障害者地域作業所・施設の製品の販売を行います。  
 【問合せ先】  
 緑区社会福祉協議会 電話：931-2478 FAX：934-4355  
 緑区社会福祉センター福祉保健課事業企画担当 電話：930-2304 FAX：930-2355  
 緑区50周年



<▲販売の様子>

## 【第2部】

休憩後、第2部がスタートしました。第3期地域福祉保健計画では、区域計画として6つの重点テーマを設けています。今年度はその中から、「健康づくりに関する取組」にスポットをあて、「健康とはなにか?～このまちで、心豊かに暮らし続けるために～」というテーマのもと、コーディネーターには、みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会の座長であり、田園調布学園大学教授の村井祐一氏、パネリストには、地域で活動されている3名の方をお迎えいたしました。



### ＜▲村井コーディネーター＞

#### ●緑区保健活動推進委員会会長 勝田睦子 氏

今年度、発足70周年を迎え、区内では200名以上が活動しています。活動を通じて、自身の学びや気づきの機会にもなっており、健康意識も自然と高まります。できることをできる人ができる範囲で行うことが長続きの秘訣だと思います。無理した先に、健康はありません。健康づくりを一人で進めるにはエネルギーが必要なので、周りのみんなで助け合っていくことが大切です。



#### ●緑区食生活等改善推進委員会前会長 岩澤鈴子 氏

「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに活動を続け、今年で50周年。活動は多岐にわたり、分野や世代を越えた交流が、活動のモチベーションや、やりがいにつながっています。皆で楽しく活動することが仲間意識を高め、周りにも伝えたいという思いになり、それが地域活動のきっかけやつながりにつながっていくと思います。



#### ●健康生きがいづくりアドバイザー 狩野陽二 氏



自治会活動をはじめ、地域の中でいろいろな活動をやっている、「社会参加」が健康づくりにつながっていると実感しています。ボランティアは大変だと言われますが、本腰を入れてやるとけっこう楽しいです。

地域活動に必要なのは「5K」、感謝・好奇心・公平・交流、そして健康。楽しさを重視する、皆が役割を持つ、新しい人も入りやすい雰囲気を作る、他グループと積極的に交流をする等が活動を長続きさせるには大切です。



### ＜▲会場の様子＞

健康づくりは「ひとりよりみんなで！」を共有できたパネルディスカッションでした。